

九州・山口地域から物流現場改善の情報発信！！

九州物流改善事例発表会 2015

開催のご案内



物流現場における人材確保が困難になっている現在、限られた人数で最大限の生産性を維持、向上させるために、従来にも増して物流現場における改善活動が重要な取組テーマとなっております。

公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会 九州ロジスティクス委員会では、九州・山口地域における物流現場改善のノウハウやヒントを共有する場として第1回目となる「九州物流改善事例発表会」を開催いたします。関係各位の積極的なご参加をお待ちしております。

会期：2015年2月26日(木) 13:30~16:50

会場：ホテルセントラーザ博多(福岡市博多区博多駅中央街4-23：博多駅徒歩1分)

主催：公益社団法人 日本ロジスティクスシステム協会

――【参加申込規定】――

参加定員 60名(申込順)

参加料

日本ロジスティクスシステム協会(JILS) 会員	7,560円/1名(参加料 7,000円+消費税560円)
上記会員外	12,960円/1名(参加料12,000円+消費税960円)

お申込方法

下記の申込用紙に必要事項を明記のうえ、FAXまたは郵送にて事務局までお申し込みください。

●参加者へ「参加証」と「請求書」を参加日の約1週間前までにお送りいたします。(請求書は参加者①の方宛にお送りいたします。)

お手元に届かない場合には、ご連絡をお願いいたします。

●開催間近のお申し込みについては、参加証をFAXにてお送りいたします。

●請求書を発行いたしますので、指定の銀行口座にお振り込みください。(当日現金のお取り扱いはいたしておりませんのでご了承ください。)

●お支払いは、原則として開催前日までにお願い申し上げます。(開催後になる場合は、支払予定欄に明記してください。)

●振込手数料は、お客様にてご負担願います。

【お願い】

●参加予定の方のご都合が悪い場合は、代理の方がご出席ください。なお、代理の方のご出席も不可能な場合は、下記の規定により、キャンセル料を申し受けますので、あらかじめご了承ください。

【キャンセル規定】(注)キャンセルは、FAXでのご連絡のみ申し受けます。

●開催7日前～前々日(開催日初日を含まず起算)...参加料(消費税を除く)の30%

●開催前日および当日...参加料(原則として消費税を除く)の全額

九州物流改善事例発表会 2015 (MA1472) 参加申込書：FAX:06-4797-2071						支払予定欄	月 日
会社名						<input type="checkbox"/> JILS会員 <input type="checkbox"/> JILS会員外 該当欄に☑	
所在地		〒					
参加者①	フリガナ氏名				所属役職		
	TEL	FAX		e-mail			
参加者②	フリガナ氏名				所属役職		
	TEL	FAX		e-mail			
通信欄							

個人情報の取り扱いについて

公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会では、個人情報の保護に努めております。詳細は、当協会のプライバシーポリシー(<http://www.logistics.or.jp/privacy.pdf>)をご覧ください。なお、ご記入いただきましたお客様の個人情報は、本講座に関する確認・連絡・受講者名簿の作成および当協会主催の関連催し物のご案内を送り出す際に利用させていただきます。

九州物流改善事例発表会 2015 プログラム

13:30~13:40	開会挨拶 加藤 正行 氏 九州ロジスティクス委員会 委員長 (TOTO株式会社 上席執行役員 物流本部 本部長)
13:45~14:05 発表事例-1	「在庫出荷生産性向上と在庫管理手順の標準化」 ヤマエ久野株式会社 物流部 係長 久保 俊雄 氏 センター内の在庫における「2S (整理・整頓)」活動により、各アイテムの出荷頻度に見合った在庫管理が実現し、出荷生産性が7%向上した。加えて、この在庫「2S」活動を月次の通常業務に組み込み、標準化させることで、向上した出荷生産性を維持することにつながった。
14:05~14:25 発表事例-2	「業務改善による生産性向上と人材育成」 株式会社九州丸和ロジスティクス アズコム福岡 センター長 平原 龍太 氏 WMS入替を契機にケースロケーション改善による保管効率の向上、出荷ランクに応じたロケーションメンテナンスやレイバーコントロール強化による出荷終了時間の前倒しに取り組んだ。その結果、センターの総生産性が前年比で105%向上し、コスト削減を実現。改善チームの組織化で人材交流も進み、横展開も図れた。
14:25~14:45 発表事例-3	「運行管理システムを導入した現場の数値化、それに伴う無駄の発見・排除」 株式会社あんしん 改善統括部 知花 拓 氏 デジタルシステムを活用し、運行業務と積みおろしに関わる作業時間を分析した結果、積みおろし作業時間にバラつきが個人別及び曜日別に判明した。標準作業のマニュアルを作成し、現場メンバーに教育することで、生産性改善及び品質改善を実現した。
14:45~15:05 発表事例-4	「物流センターの荷捌きエリア回転運用による出荷仕掛り時間の短縮」 TOTO株式会社 近畿・中部物流部 滋賀物流課 係長 井堀 誠 氏 近畿・中部エリア向けに住宅設備機器を出荷する物流センターにおいて、荷揃えからトラック積み込みまでの作業を清流化し、荷捌きエリアを回転運用させることで1車あたりの仕掛り時間を大幅に短縮した。あわせて、運搬距離の短縮などにより生産性を20%向上させるとともに荷役機器との歩車分離も実現した。
15:05~15:20	休憩
15:20~15:40 発表事例-5	「物流効率化とCS向上の取組み (K社向けカットタコ冷凍原料)」 株式会社松岡 福岡物流センター 所長 辻本 晃教 氏 原料カットタコの輸入商社9社の別々の在庫拠点を製品保管冷蔵庫に集約した。また、製品入庫の帰り便にて原料カットタコを製造メーカーに供給した。
15:40~16:00 発表事例-6	「グリーンベルト・グリーンネット導入によるコスト削減及びゴミの削減並びに作業負荷軽減」 三菱倉庫株式会社 福岡支店 鳥栖営業所 鳥栖配送センター 木原 晶樹 氏 特定荷主原料の出庫については、輸送中の荷崩れ防止策として出庫荷揃後ラップによる荷崩れ防止策を行っていた。また、納入先では、荷降し前にドライバーが、ラップを外し都度ゴミを持ち帰り廃棄していたが、改善取り組みの結果ラップ購入額頻度及び購入額の削減、使用後ラップゴミの削減、1P/Lあたり6回転していたのがマジックテープによりワンタッチで済むようになり、作業効率の向上が実現した。
16:00~16:20 発表事例-7	「作業負荷低減 (輸送トラック平準化)」 三和酒類株式会社 製品物流部 物流企画課 小野 礼子 氏 輸送トラック台数の平準化を軸に生産計画の見直しを行うことで繁忙期の運配/物流拠点への入庫作業を調整しスムーズな出荷作業を行えるように改善した。現在トラック運転手の不足が懸念される中、年間を通じて一定配送することで運転手の確保を行い、安全で正確な作業形態を保持できるように考えた。
16:20~16:30	記念品授与 加藤 正行 氏 九州ロジスティクス委員会 委員長 (TOTO株式会社 上席執行役員 物流本部 本部長)
16:30~16:50	講評 福田 晴仁 氏 西南大学 商学部 准教授
16:50	閉会

九州ロジスティクス委員会 委員一覧 敬称略・2014年12月10日時点

委員長 加藤 正行	TOTO(株) 上席執行役員 物流本部 本部長	委員 木谷 泰博	西部電機(株) マテハン事業部 顧問
副委員長 高田 仁	九州大学大学院 経済学研究院 教授	〃 亀田 敦史	東芝ロジスティクス(株) 九州ロジセンター センター長
〃 宮崎 務	ヤマエ久野(株) 物流部 部長	〃 吉富 秀介	中川運輸(株) 代表取締役社長
委員 高根 幸二	アサヒロジ(株) 西日本支社 営業部長 兼 福岡支店長 兼 祥和大分出張所長	〃 廣瀬 徹	日本通運(株) 福岡支店 部長
〃 関 雅典	臼杵運送(株) 専務取締役	〃 高崎 一男	(株)博運社 常務取締役 福岡1部統括店長 兼 営業本部営業部長
〃 石ヶ森 通安	(株)九倉 代表取締役社長	〃 初村 雅敏	初村第一倉庫(株) 総務部 取締役 部長
〃 山下 栄久	久留米運送(株) 北部九州地区本部 専務取締役本部長	〃 福永 重美	(株)松岡 取締役 物流事業部長
〃 鈴木 弘美	コカ・コーラウエスト(株) SCM統括部 物流部長	〃 上原 芳樹	三井物産(株) 次世代・機能推進本部 総合力推進部 九州機能推進シニア・コーディネーター
〃 中村 卓也	金剛(株) 執行役員 製造本部長	〃 町田 洋一郎	(株)安川ロジステック 企画部長
〃 荒川 孝司	三和酒類(株) 製品物流部 部長		

◆お問合せ・申込み先◆公益社団法人日本ロジスティクスシステム協会 関西支部
〒530-0001 大阪市北区梅田2-2-22 ハービスENTオフィスタワー19階
TEL 06-4797-2070 FAX:06-4797-2071 e-mail:kansai@logistics.or.jp http://www.logistics.or.jp/